

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2015-119909(P2015-119909A)  
【公開日】平成27年7月2日 (2015.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報2015-042  
【出願番号】特願2013-266629(P2013-266629)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月15日 (2016.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

センサー部と、  
前記センサー部からのセンサー情報に基づいて、生体情報を算出する処理部と、  
前記生体情報を情報処理装置へ送信する通信部と、  
時刻を出力する時刻出力部と、  
を含み、  
前記通信部は、  
機器固有情報に基づいて、前記生体情報の送信タイミングの遅延時間を求め、  
前記時刻出力部から出力された前記時刻に基づいて、前記第 1 の送信タイミングを求め、  
前記第 1 の送信タイミングから、求めた前記遅延時間だけ遅延した第 2 の送信タイミングにおいて、前記生体情報を送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
前記生体情報を時刻情報と対応付けて記憶する記憶部を含み、  
前記通信部は、  
前記第 2 の送信タイミングにおいて、前記記憶部に記憶された前記生体情報を送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 において、  
前記処理部は、  
前記センサー情報に基づいて、第 1 の生体情報と、前記生体情報である第 2 の生体情報を検出し、  
前記通信部は、  
第 1 の通信周期で前記第 1 の生体情報を送信し、前記第 1 の通信周期よりも長い第 2 の通信周期で前記第 2 の生体情報を送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、  
前記通信部は、  
前記生体情報のデータを、複数のパケットにより構成される複数のブロックに分割し、

前記ブロックを送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記通信部は、

近接無線通信により、アクノリッジなしリードのプロパティが与えられた第 1 のキャラクターリスティックで、前記ブロックを送信し、前記情報処理装置におけるブロックの受信結果を、アクノリッジ付きライトの前記プロパティが与えられた第 2 のキャラクターリスティックで受信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれかにおいて、

前記通信部は、

前記生体情報を送信する前に、第 1 の通信速度から前記第 1 の通信速度よりも速い第 2 の通信速度へと、通信速度を変更し、前記生体情報の送信完了後に、前記第 2 の通信速度よりも遅い第 3 の通信速度へと、前記通信速度を変更することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 7】

請求項 6 において、

前記通信部は、

近接無線通信により、アクノリッジ付きライトのプロパティが与えられた第 1 のキャラクターリスティックで、通信速度変更指示を受信し、受信した前記通信速度変更指示に基づいて前記通信速度を変更し、アクノリッジ付きリードの前記プロパティが与えられた第 2 のキャラクターリスティックで、通信速度変更完了通知を送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれかにおいて、

前記通信部は、

前記第 2 の送信タイミングにおいて、前記生体情報を送信可能である場合には、前記生体情報を送信可能になったことの通知を前記情報処理装置へ送信し、前記情報処理装置から送信開始指示を受信した場合に、前記生体情報を送信することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 9】

請求項 8 において、

前記通信部は、

前記情報処理装置から送信開始指示を受信した場合に、アクノリッジ付きリードのプロパティが与えられた第 3 のキャラクターリスティックで、前記生体情報のアップロードデータサイズを前記情報処理装置へ送信して、前記生体情報の送信を開始することを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかにおいて、

前記生体情報を検出したタイミングに前記時刻出力部から出力された測定時刻に、前記生体情報を関連付けて記憶する記憶部を含むことを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれかにおいて、

前記生体情報は、

歩数、消費カロリー、摂取カロリー、精神ストレス情報、睡眠情報及び行動分析情報のうちの少なくとも 1 つの情報を含むことを特徴とする生体情報測定装置。

【請求項 12】

センサー部からのセンサー情報に基づいて、生体情報を検出し、前記生体情報の第 1 の送信タイミングを時刻から求める生体情報測定装置と通信する通信部と、

処理部と、

を含み、

前記通信部は、

前記第 1 の送信タイミングから、前記生体情報測定装置の機器固有情報に基づいて求められた遅延時間だけ遅延した第 2 の送信タイミングにおいて、前記生体情報を受信することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 において、

前記処理部は、

前記生体情報を送信可能になったことの通知を、前記生体情報測定装置から前記通信部が受信した場合に、前記生体情報測定装置に対して、前記生体情報の送信開始を指示することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 4】

生体情報測定装置と、

情報処理装置と、

を含み、

前記生体情報測定装置は、

センサー部からのセンサー情報に基づいて、生体情報を検出し、

機器固有情報に基づいて、前記生体情報の送信タイミングの遅延時間を求め、

時刻に基づいて求められた第 1 の送信タイミングから、前記遅延時間だけ遅延した第 2 の送信タイミングにおいて、前記生体情報を送信し、

前記情報処理装置は、

前記第 2 の送信タイミングにおいて、前記生体情報を受信することを特徴とする生体情報測定システム。